

# カムチャツカとは



ロシア連邦の東のはし



**面積 46万4000 km<sup>2</sup>**  
**(日本の1.2倍)**

**人口 32万人(2014年)**

**州都**

**ペトロパヴロフスク・**

**カムチャツキー市**

**(人口18万人)**



**主な産業 水産業**  
**観光業**

# 仕事

## 漁業

オヒョウ ヒラメ ホッケ  
タラ スケソウダラ  
ミズダコ キュウリウオ  
カカラフトシシャモ



カムチャツカの男たちの仕事で多いのは、船乗り。  
タラバガニはロシア語で「カムチャツキークラブ」。  
その多くが日本に輸出されている。

# 特産品イクラ

海の魚だけでなく、キングサーモン、ギンザケ、カラフトマスなどシャケ類の漁獲も盛ん。さまざまなイクラが市場に並び。



# 地の果て

僻地のカムチャツカでは、雇用主が、休暇を迎える従業員に海外旅行エアチケットを支給する。年金支給開始年齢も本土に比べ5年早い。

カムチャツカ州の空の玄関  
エリゾヴォ空港



# 火山とヒグマの国



未開の原野が果てしない。300 を超える火山は世界自然遺産。エコツアーリズムがさかん。

# 建設ラッシュ

大型商業施設、オフィスビル、戸建て住宅  
街並みの変化は早い



カムチャツカの日本観

# 最も近い先進国への あこがれ

船員の多いカムチャツカでは、早くから日本の先進性が認識されており、親日的なロシアでもとりわけ親日的な空気が強く、過大評価に近いほど。

高松に来てみた感想は「23世紀に来たようだ。」と口をそろえる。

